

春といえば出会いと別れの季節ですね。
中田歯科クリニックでもこの春でお別れの
スタッフを紹介します。

平成20年から7年間、勤務させて頂いた衛生士
坂です。

2歳だった息子が、春から小学生になります！！
こんなに長い間、中田歯科クリニックで働かせて頂き、
院長、スタッフ、そして患者様に感謝
しています。

私は「記録に残る衛生士」より
「記憶に残る衛生士」に

なりたい！！と思い働いてきました。
患者様の心に何かを残し、笑顔で「あ
りがとう」と言って頂き、

「またきちんと定期検診に来よう」と
感じて頂きたいと思ってきました。

歯科衛生士として素晴らしい時間を過ごさせて頂き、本
当にありがとうございました。



ブログ更新中です☆



<http://nakata-dental.jugem.jp>

歯あとふる

こみゅにけいしょんず

2015年 春号



歯あとふるこみゅにけいしょんず 2015年春号

今回は小谷・石井・大谷の
1988年生まれの3人がお届け致します！！

8がつく数字といえば、8月8日は『歯並びの日』
というのは皆さんご存知ですか？

笑い声の「はっはっは」というイメージが健康をテーマと
した歯科矯正にふさわしいことから日本臨床矯正歯科
医会が制定しました★

1988年といえば、

3月17日 東京ドームの完成

4月10日 瀬戸大橋開通

や、戊辰の年で60干支の中で一番精神が強く抜群の
集中力があり、自説がぶれないといわれています。

それでなのか88年生まれは有名人が多いと言われて
いますね(*▽*)

自分たちの生まれ年の歴史を調べるとなかなか面白い
ですね！

という事で、今回は歯の歴史についてのお話です❀



*歯みがきの歴史

・インダス文明時代の古代インドでは、端を噛み潰したニームの木の小枝で一日二回歯みがきを行っていました。ローマ時代には動物の骨や卵の殻を焼いた灰で歯をみがいていました。中国では959年頃の歯ブラシが見つかっておりかなり古い時代から歯ブラシが使われていたのがわかります。また、曹洞宗の道元禅師の「正法眼蔵」には、中国の宋に留学中に牛角製柄に馬毛を植えた歯ブラシが使われていたと記してあります。現代的な歯ブラシの製造も西洋より、東洋の方が早かったようであります。家庭用の歯ブラシが高価だったヨーロッパで現在のよう歯ブラシが使われるようになったのは17世紀になってからで当時の歯ブラシは馬毛でできていました。

・「歯をみがく」という思想はインドから仏教と共に中国や韓国を経て552年に日本へ伝えられました。平安朝期に楊子でみがくことが民間に広まり、日本で使用された最初の歯みがき粉は塩でしたが、江戸になると歯みがき粉は庶民にも広く普及しました。

*歯科医師の歴史

日本では、明治7年(1874年)に医制が公布され、医師になるには医師開業試験に合格する事が求められることになりました。小幡英之助という人物が、翌年に実施された第1回の試験に「歯科」を専門に受験・合格しました。小幡が西洋歯科医学を専攻し「歯科」という語を初めて用いたこともあり、日本で最初の歯科医師とされています。その後明治16年(1883年)、新たに歯科医籍が作られた結果、医師と歯科医師は、法的に別個の存在となったのです。

